

(様式第2号の3)

東京都保育士等キャリアアップ研修

研修カリキュラム

研修実施機関名： 一般社団法人日本社会福祉マネジメント学会

研修名	東京都保育士等キャリアアップ研修	研修種別	4 食育・アレルギー対応		
研修期間		研修定員	20	研修時間	15

項番	研修実施予定日時	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間 (分)	研修形態 (講義・演習・ グループ討議 等)	研修会場 (名称・所在)
1	集合研修開始日10日前～ 前日までの間に受講	食育・アレルギー対応の概 要(事前学修)	・食育・アレルギー対応に関する意義 と理解	栄養セントラル学院講師 管理栄養士・保育士 五十嵐 条子	120	講義 (オンデマン ド)	受講者各施設(園または自 宅)
2		栄養に関する基礎知識	・栄養の基本的概念と栄養素の種類と 機能 ・食事摂取基準と献立作成・調理の基 本 ・衛生管理の理解と対応 事例考察	同上	180	講義 演習 グループ討議	株式会社global bridge HOLDINGS 東京都台東区駒形1丁7目 -11 T&Tビル5階
3		食育計画の作成と活用	・食育の理解と計画及び評価 ・食育のための環境(他機種との協働 等) ・食生活指導及び食を通じた保護者へ の支援 ・第三次食育推進基本計画 事例考察	同上	150	講義 演習 グループ討議	同上
4		保育所における食事の提供 ガイドライン	・保育所における食事の提供ガイドラ インの理解 ・食事の提供における質の向上 事例 考察	同上	90	講義 演習 グループ討議	同上
5		保育所におけるアレルギー 対応ガイドライン	・保育所におけるアレルギー対応ガイ ドラインの理解① ・食育・アレルギー対応のリーダーと して(事例考察)	同上	120	講義 演習 グループ討議	同上
6		保育所におけるアレルギー 対応ガイドライン	・保育所におけるアレルギー対応ガイ ドラインの理解② ・アナフィラキシーショック(アドレ ナリン自己注射薬であるエピペン®の使 用方法を含む)の理解と対応	同上	120	講義 演習	同上
7		アレルギー疾患の理解	・アレルギー疾患の理解 ・食物アレルギーのある子どもへの対 応	同上	120	講義 演習	同上

※1 研修ごとに作成すること。

※研修種別は、乳児保育、幼児保育、障害児保育、食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、マネジメント、保育実践から該当するものを記載すること。

※研修時間は、休憩時間を含まない実質の時間を記載すること。

※研修形態は、講義、演習、グループ討議等の別を記載すること。